


# 給食中の会話、対策すればOK 文科省「コミュニケーションは大切」

新型コロナウイルス

桑原紀彦 2022年11月29日 16時06分



文部科学省の入る庁舎=東京・霞が関 

文部科学省は29日、小中学校などでの給食中の過ごし方について、座席配置を工夫したり適切に換気したりすれば、児童生徒同士の会話は可能だと各地の教育委員会に通知した。政府の新型コロナウイルスの基本的対処方針が変更され、飲食時の「黙食」を求める記述が削除されたことを踏まえた。

文科省が定めた新型コロナ対応の衛生管理マニュアルでは、「会食にあたって飛沫（ひまつ）を飛ばさないよう、机を向かい合わせにしない、

大声での会話を控えるなどの対応が必要」と記している。文科省によると、学校に給食時の黙食を呼びかける教委がある一方、大声でなければ会話ができるなどと指導する教委も出てきている。

今回の通知では、「従前から黙食を求めている」としつつ、感染防止策を施せば会話は可能と示した。担当者は「普段の学校生活でのマスク着脱も含め、子どもにとってのコミュニケーションの大切さを考慮しながら指導してほしい」と話す。（桑原紀彦）